

令和9年度
編入学者募集要項



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号
TEL 0166-55-8178 (学生課教務係)
FAX 0166-55-8084 (学生課)
E-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp
URL <https://www.asahikawa-nct.ac.jp>

目 次

アドミッションポリシー（本科入学者に求める能力と適性）	1
--	---

編入学者募集要項

1 編入学を実施する学科、編入学年次及び募集人員	2
2 出願資格	2
3 志望学科	2
4 出願期間	2
5 出願手続	3
6 選抜方法	4
7 合格発表	4
8 入学確約書の提出	5
9 入学手続	5
10 免除制度等について	5
11 個人情報の取扱いについて	5
12 合理的配慮の提供について	6
13 その他	6

編入学案内

1 本校の概要	7
2 本校の教育目標	7
3 編入学制度	7
4 学科紹介	7
5 編入学の学年及び授業科目	9
6 入学料、授業料等	9
7 学生寮	9
8 卒業後の進路	9
9 授業科目一覧	11

出願書類

- 編入学願書
- 受験票・写真票
- 振込依頼書・振込金受取書

アドミッション・ポリシー（本科入学者に求める能力と適性）

旭川高専は、卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）に定める人材を育成するため幅広い分野に関する基礎学力を有し、それらを活用して論理的に思考でき、主体的に他者と協働できる人を受け入れます。

【機械システム工学科】

機械システム工学科では、次のような人材を求めます。

1. 科学とエネルギー・環境の関わりを学びたい人
2. モノづくりによって世の中を幸せにしたい人
3. グローバルな視野を持って、国内及び国際社会で活躍したい人
4. 機械に興味を持ち、未知のことにチャレンジする人
5. いつも夢を持ち、その実現まであきらめないで努力を続ける人

【電気情報工学科】

電気情報工学科では、次のような人材を求めます。

1. 情報ネットワークやエレクトロニクスについて学びたい人
2. 電子、情報、通信の総合技術のたくさんの分野で、世の中を幸せにしたい人
3. グローバルな視野を持って、国内及び国際社会で活躍したい人
4. プログラムやサイエンスに興味を持ち、未知のことにチャレンジする人
5. いつも夢を持ち、その実現まであきらめないで努力を続ける人

【システム制御情報工学科】

システム制御情報工学科では、次のような人材を求めます。

1. ロボットなどを作り動かすために必要な知識や技術を学びたい人
2. 幅広い知識や技術を用いて世の中を幸せにするモノづくりをしたい人
3. グローバルな視野を持って、国内及び国際社会で活躍したい人
4. コンピュータを用いたモノづくりに興味を持ち、未知のことにチャレンジする人
5. いつも夢を持ち、その実現まであきらめないで努力を続ける人

【物質化学工学科】

物質化学工学科では、次のような人材を求めます。

1. 新素材、バイオテクノロジー、環境などに関する知識と技術を学びたい人
2. 化学や生物の分野で、世の中を幸せにするモノづくりをしたい人
3. グローバルな視野を持って、国内及び国際社会で活躍したい人
4. 実験・観察・モノづくりに興味を持ち、未知のことにチャレンジする人
5. いつも夢を持ち、その実現まであきらめないで努力を続ける人

入学者選抜の基本方針

入学者選抜について

本校の求める学生像に見合う学生を選抜するために、次のように入学者の選抜を行います。

- 多様な学生を求めるために推薦選抜、学力選抜、帰国生特別選抜及び編入学選抜を実施する。
- 基礎学力を身につけていることを重視する。
- 数学・理科・英語を中心とした学習内容を十分理解していることを重視する。

【推薦選抜】

出願資格を満たした志願者を対象に、個人調査書及び面接の総合判定によって選抜します。

【学力選抜】

志願者を対象に、学力検査（数学・理科・英語・国語・社会）の成績、個人調査書及び入学意思確認書の総合判定によって選抜します。英語・数学・理科を重視します。

【帰国生特別選抜】

外国において教育を受けた人で、出願資格を満たした志願者を対象に、学力検査（数学・理科・英語）の成績、個人調査書（成績証明書）、作文及び面接の総合判定によって選抜します。

【4年次編入学選抜】

志願者を対象に、学力検査（数学・英語・専門科目）及び調査書の総合判定によって選抜します。学力検査は面接を伴う口頭試問で行います。

編入学者募集要項

1 編入学を実施する学科、編入学年次及び募集人員

学 科	編入学年次	募 集 人 員
機械システム工学科	第4学年	若 干 名
電気情報工学科		
システム制御情報工学科		
物質化学工学科		

2 出願資格

- (1) 工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科並びに普通科及び理数科を卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 中等教育学校の後期課程の「普通・理数・総合系」を卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者で編入学の時18歳に達する者

3 志望学科

志望学科は、工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科の場合は、所属学科と同系であることを原則とし次表のとおりとします。それ以外の者は、いずれの学科でも志望することができます。

志望学科	出身校における所属学科
機械システム工学科	機械系学科（機械科、自動車科、電子機械科、材料技術科、機械・電気科等）
電気情報工学科	電気系学科（電気科、情報技術科、電気システム科、機械・電気科、電気・電子科、電子情報システム科等）
システム制御情報工学科	機械系学科（機械科、電子機械科、情報技術科、機械・電気科等）
物質化学工学科	化学系学科（工業化学科、物質化学科、環境化学科等）

4 出願期間

受 付 期 間	令和8年6月22日(月)～6月26日(金)
受 付 時 間	各日9時から16時まで（最終日は16時必着）
受 付 場 所	旭川工業高等専門学校 学生課

5 出願手続

出願資格(1)及び(2)の者は学校長を通じて、(3)の者は個々に、次の書類等を本校学生課教務係へ提出してください。なお、郵送の場合は必ず「書留・速達」とし、封筒の表に「編入学願書在中」と朱書きしてください。

区 分		留 意 事 項
1	編 入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	受験票及び写真票	「写真票」には、縦4 cm×横3 cm、脱帽上半身正面向き、出願前3か月以内に撮影した写真を貼ってください。 なお、「受験票・写真票」は切り離さないでください。
3	調 査 書	出願資格(1)及び(2)の者は、出身学校所定の用紙により、学校長が作成してください。各教科の評定は、第2学年までの成績を記入してください。 出願資格(3)の者は、高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定の「合格証明書」を提出してください。
4	受験票送付用封筒	長形3号(120 mm×235 mm)の封筒に、志願者本人の郵便番号・住所・氏名を記入し、620円分の切手(速達・特定記録料を含む)を貼ってください。
5	入 学 検 定 料	入学検定料は16,500円です。本校所定の振込用紙により、志願者本人の名義で、金融機関から、令和8年6月1日(月)から令和8年6月26日(金)までの間に振り込んでください。振り込み後、「振込金受取書」(ゆうちょ銀行から振り込んだ場合、ゆうちょ銀行発行の「振込受付書」)の写しを入学願書の裏面に貼ってください。 ※既納の検定料は、出願書類受理後は返還できません。 なお、次の場合は検定料の返還請求を行えますので、本校学生課教務係までご連絡ください。 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を重複で納付した場合

6 選抜方法

編入学者の選抜は、学力検査（口頭試問）及び調査書の総合判定により行います。

学力検査では、志望動機、その他必要な事項について面接を行うほか、下記の科目に関する口頭試問（黒板等を使用する場合あり）を行います（30分程度）。

(1) 学力検査（口頭試問）の科目名及び出題範囲

学 科	科目名	出題範囲
各 学 科 共 通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ
	英 語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ
機械システム工学科	専門科目	機械基礎、電気基礎
	物 理	物理基礎
電気情報工学科	専門科目	電気基礎、情報技術基礎
	物 理	物理基礎
システム制御情報工学科	専門科目	機械基礎、情報技術基礎
	物 理	物理基礎
物質化学工学科	専門科目	工業化学（無機・分析化学基礎、有機化学基礎）
	化 学	化学基礎

※**数学**及び**英語**のほか、工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科の場合は**志望学科の専門科目**、その他の場合は志望学科により**物理又は化学**から出題します。

(2) 学力検査（口頭試問）の日時及び場所

日 時	場 所
令和8年7月11日(土) 9:00～	旭川工業高等専門学校

※受験票送付時に開始時間を通知します。

7 合格発表

(1) 発表日時

令和8年7月17日(金) 9時

(2) 発表方法

本校ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、受験者及び学校長に文書で合否を通知します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じられません。

8 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和8年8月21日(金)までに「入学確約書」(合格通知書に同封)を提出してください。

9 入学手続

入学手続きについては、令和9年3月上旬に別途通知します。

10 免除制度等について

(1) 検定料の免除

主たる家計支持者の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け、居住する家屋が被害を受けた場合、被災日以降に出願手続きを行う入学者選抜において、罹災証明書等の必要書類の提出によって、検定料が免除となる制度があります。該当する場合には、出願前に、本校学生課教務係までご連絡願います。

(2) 入学料の免除

入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は風水害等の災害を受けた場合等、特別な事情により入学料の納付が困難であると認められる場合、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

(3) 授業料等の減免

本校第4学年以上の学生は、高等教育の修学支援新制度の対象となり、一定年収以下の世帯及び多子世帯の学生については、本人の申請に基づき認定されると、授業料等(入学料を含む)の減免を受けることができます。

(4) 奨学金制度

日本学生支援機構の給付奨学金制度(高等教育の修学支援新制度に含まれるもの)があり、一定年収以下の世帯の学生については、本人の申請に基づき認定されると、奨学金の給付を受けることができます。また、日本学生支援機構では貸与奨学金制度もあり、学業・人物共に優れ、授業料の納付が困難と認められる者に対して、奨学金が貸与される制度もあります。

そのほか、ウェルネット株式会社拠出の寄付金を原資として、経済的に困窮している北海道内4高専(旭川高専、函館高専、苫小牧高専、釧路高専)の学生を支援対象とする給付型の奨学金があります。

不明な点は学生課学生係にお問合せください。

TEL 0166-55-8124

11 個人情報の取扱いについて

出願の際に取得した氏名、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、入学手続き及び入学者選抜方法等の改善に関する業務のために利用します。

また、入学者については、学籍管理、入学料・授業料免除、奨学金申請、授業料等に関する業務を行うために利用します。

12 合理的配慮の提供について

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、令和8年6月15日(月)までに、本校学生課教務係へ申し出てください。期日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者等に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても本校学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校学生課教務係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求められることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

13 その他

(1) 編入学者募集要項の請求

編入学者募集要項は、本校ホームページよりダウンロード願います。

(2) 問い合わせ先

編入学者募集要項・入学者選抜全般に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

旭川工業高等専門学校 学生課教務係

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8178 (学生課教務係)

FAX 0166-55-8084 (学生課)

e-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp

URL <https://www.asahikawa-nct.ac.jp>

編入学案内

1 本校の概要

設 置	昭和 37 年 4 月 1 日
所 在 地	北海道旭川市春光台 2 条 2 丁目 1 番 6 号
学 科 等	準学士課程[5 年] 機械システム工学科 (40 名) 電気情報工学科 (40 名) システム制御情報工学科(40 名) 物質化学工学科 (40 名) 専攻科課程[2 年] 生産システム工学専攻 (12 名) 応用化学専攻 (4 名) ＜()内は入学定員＞

2 本校の教育目標

- 1 一般教養及び科学技術の基礎知識と工学の専門知識を備えた教養豊かな人材を育成する。
- 2 社会の課題に対応できるように協働性を持って自主的に行動できる能力を備えた実践的な人材を育成する。
- 3 国際的適応力と英語力を持ちグローバルに活躍する能力を備えた人材を育成する。
- 4 広い視点からの思考力と創造性を持ち、自立して行動できる人材を育成する。
- 5 健全な心身と将来的視野を備え、豊かな人間性を持った人材を育成する。

3 編入学制度

高等専門学校は、大学と同じ高等教育機関の 1 つで、5 年間一貫の工学に関する早期専門教育により「創造力と実践力を備えた技術者」を育成することを目的として教育・研究活動を行っています。

本校の編入学制度は、このような目的を達成するために、高等学校の卒業生等にも広く門戸を開放して、科学技術の一層の発展とその担い手となるべき技術者を育てるために設けられている制度です。

4 学科紹介

機械システム工学科

自動車や航空機等の輸送機械、テレビや冷蔵庫等の家電製品、時計やカメラ等の精密機械だけではなく、プラスチック製品や衣料品、さらには加工食品をつくる時にも機械工学の知識と技術が必要です。

このように、機械工学を学んだエンジニアは、工業製品を生産するすべての分野で必要とされており、特に最近では、従来の機械工学の知識に、コンピュータの知識を応用・融合させることが求められています。機械システム工学科では、全学年においてコンピュータを活用した授業を行いながら、熱・流体分野、材料・材料力学分野、生産・設計分野、機械制御分野の授業で得た専門知識や技術を、機械製作実習、創造実習、CAD・CAM、設計製図、工学実験での体験や実践とともに習得していき、第 5 学年の卒業研究

等において、これらの知識や技術を総合的に応用する能力を身に付け、「自らものづくりのできる技術者」を育成することをめざしています。

電気情報工学科

現代は、多くの電気・電子機器が働いて高度情報化社会を展開しており、インターネットを中心としたネットワーク社会が進行しています。これらの電気・電子機器は従来の電気・電子工学を利用した機能だけでなく、内部にマイクロコンピュータが組み込まれて機器を制御しています。さらに、これらの機器はネットワークを介して制御されるユビキタス情報社会に発展しようとしています。そこでは、情報（ソフトウェア）が大きな役割を担っていると言えます。このような情報化社会を構成するために必要な、ハードウェアとソフトウェアの両方を扱うことのできる高度な電気技術を理解している技術者が、社会から求められているのです。

電気情報工学科では、このような社会の要請に適應できる技術者を育てるため、電気回路、電子回路等の基礎科目や半導体工学、通信工学、環境エネルギー工学等の電気・電子技術とコンピュータ工学、情報システム工学等の情報技術を実験・実習をも加えてバランスよく学びます。

システム制御情報工学科

コンピュータ及び情報技術は、電化製品や自動車等の産業製品、それら製品を製造する生産機械や産業ロボット、さらには金融・物流システム等に組み込まれており、現代社会にとって欠くことのできない基盤技術です。コンピュータの応用技術は、その構成要素であるマイクロプロセッサ、電気・電子部品、機械部品等のハードウェア技術と、これらをシステムとして有機的に結合し目的の機能を発揮させるソフトウェア技術から成り立っています。したがって、それらを統合するためには、機械・電気をはじめとする多様な領域にまたがる知識とシステム制御の技術を身に付けることが必須です。このような複合領域にまたがる技術に対応できる技術者への社会的・国際的要請は、今後ますます強くなると考えられます。

システム制御情報工学科では、コンピュータ応用技術と機械工学、電気工学等の基礎が融合した複合領域分野で活躍できる国際的視野を持った技術者を育成することを目的としています。

物質化学工学科

物質化学工学科では、全ての産業の基礎である「物質」を化学の視点から学ぶことを通して、人類に有益な物質の開発や生産、環境の保全などに貢献できる人材を育成することを目的としています。

第1～3学年では、分析化学や有機化学、生化学などの基礎的科目を、各々に対応した実験科目とともに学習します。編入学後の第4学年では、化学工学や物理化学を詳しく学ぶとともに、「創製化学」、「生命化学」および「計測化学」の3つのコースに分かれ、1つを専門として学びつつ他の2つと繋がりながら、無機/有機材料の合成や物性の計測、生体物質・生物・微生物を利用した生産技術等についてコース別実験などを通じてより広く深く学習

します。編入学生に対しては、必要に応じて補習等を行い、専門基礎知識の再構築を行っています。

5年間の総仕上げ科目である卒業研究では、少人数の恵まれた環境の中で、問題探索能力や解決能力を養います。例年、物質化学工学科の卒業生の約4割は化学工業などの生産現場へ進み、また約6割は、更に学問を究めるため専攻科や大学へと進学しています。

5 編入学の学年及び授業科目

各学科とも第4学年に編入学し、各学科に共通する一般科目及び学科別の専門科目を履修します。各学科の授業科目一覧は11ページのとおりです。

なお、学科によっては、不足部分を補うため、数学・物理・専門科目の補習授業を行うことがあります。

6 入学料、授業料等

(1) 入学料 84,600円 (予定)

※入学手続き時に納入してください。

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。

※既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。

(2) 授業料 (年額) 234,600円 (予定)

※前期 (5月) と後期 (10月) の2回に分けて納入してください。

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。また、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(3) 諸納金 (後援会費、学生会費、教科書代等) 約100,000円

※入学手続き書類の送付時に確定額を通知します。

7 学生寮

本校には、教育施設の一環として学生寮 (名称: 明誠寮) があり、入寮は選考によります。入寮に伴う経費は以下のとおりです。

- ・ 明誠寮保護者会年会費 1,500円
- ・ 寄宿料 (月額) 700円 (個室は800円)
- ・ 寮費 (月額/食費、冬期暖房費を含む) 約60,000円

8 卒業後の進路

令和7年度卒業生の進路状況は、以下のとおりです。

学 科 名	卒業者数	就職者数	本校専攻科入学者数	大学等編入学者数
機械システム工学科	31	16	6	8
電気情報工学科	24	19	1	4
システム制御情報工学科	31	21	4	6
物質化学工学科	32	18	5	9
合 計	118	74	16	27

(1) 就職

卒業生は、産業界のあらゆる分野、機械、電気、自動車、航空、精密機械、化学工業等の産業のほか、流通、情報等の産業界のあらゆる分野の企業の先端技術者として就職、活躍しており、就職率はほぼ100%です。

過去5年間の主な就職先

雪印メグミルク(株)、出光興産(株)、キャノン(株)、(独)国立印刷局、北海道電力(株)、セイコーエプソン(株)、花王(株)、日産自動車(株)、(株)カネカ、東レ(株)、北海道ガス(株)、キリンビバレッジ(株)、サントリーホールディングス(株)、(一社)日本血液製剤機構、(株)エヌ・ティ・ティ エムイー、(株)牧野フライス製作所 ほか

(2) 本校専攻科への進学

本校卒業後、本校専攻科に進学することができます。

専攻科は、高等専門学校における5年間の教育課程の上に設けられた2年制の課程です。より深く高度な工業に関する専門的知識及び技術を研究し、生産システム分野又は環境への配慮に柔軟に対応しながら化学・バイオ関連産業において活躍できる、創造的かつ国際的な研究開発型の技術者を育成することを目的としています。

(3) 大学への編入学等

本校卒業後、希望する者は選考により大学(学部)の3年次(大学によっては2年次)へ編入学することができます。

新潟県長岡市と愛知県豊橋市には、高専卒業生を対象とした技術科学大学があり、さらに、全国の国立大学等が高専卒業生の3年次(大学によっては2年次)への編入学を受け入れています。昨年度は卒業生の約4割が、高専専攻科へ入学あるいは大学へ編入学しています。

過去5年間の主な進学先

北海道大学、東北大学、東京農工大学、千葉大学、新潟大学、神戸大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、北海道教育大学、室蘭工業大学、北見工業大学、旭川高専専攻科 ほか
--

授 業 科 目 一 覧

一般科目（各学科共通）

必修科目			選択科目(4単位)	
国語Ⅰ	物理Ⅰ	創造演習Ⅰ	文学	一般教養特別講義A
国語Ⅱ	物理Ⅱ	情報・数理基礎	史学	一般教養特別講義B
国語Ⅲ	化学Ⅰ	健康体育Ⅳ	法学	一般教養特別講義C
地理	化学Ⅱ	科学技術英語Ⅰ	経済学	一般教養特別講義D
公共	ライフサイエンス	科学技術英語Ⅱ	英語特講A	
歴史	アースサイエンス	実践英語演習	英語特講B	
数学ⅠA	健康体育Ⅰ	言語表現	第二外国語	
数学ⅠB	健康体育Ⅱ	日本文化論	数学特講	
数学ⅡA	健康体育Ⅲ	知的財産権論	物理特講	
数学ⅡB	英語コミュニケーションⅠ	創造演習Ⅱ	半導体概論	
数学ⅢA	英語コミュニケーションⅡ	キャリアデザイン		
数学ⅢB	英語オーラルコミュニケーション			
数理・データサイエンス	英語コミュニケーションⅢ			

専門科目

機械システム工学科	電気情報工学科	システム制御情報工学科	物質化学工学科	
必修科目	必修科目	必修科目	必修科目	
応用物理Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用物理Ⅰ	応用数学
工学基礎演習Ⅰ	電気工学基礎	工学基礎演習Ⅰ	基礎化学Ⅰ	応用物理Ⅱ
工学基礎演習Ⅱ	基礎電気回路Ⅰ	工学基礎演習Ⅱ	基礎化学Ⅱ	応用物理実験
力学基礎	基礎電気回路Ⅱ	CADⅠ	基礎化学Ⅲ	無機化学Ⅲ
材料力学Ⅰ	基礎電磁気学	CADⅡ	無機化学Ⅰ	応用有機化学Ⅰ
機械材料学Ⅰ	基礎電子回路	機械設計材料工学	無機化学Ⅱ	材料化学Ⅰ
機械材料学Ⅱ	超スマート社会概論	メカニズム概論	有機化学Ⅰ	高分子化学
機械製作実習Ⅰ	エレクトロニクス概論	工業力学Ⅰ	有機化学Ⅱ	物理化学Ⅱ
機械製作実習Ⅱ	コンピュータ工学Ⅰ	電気電子工学Ⅰ	有機化学Ⅲ	物理化学Ⅲ
機械総合実習	コンピュータ工学Ⅱ	情報リテラシー	分析化学	化学工学Ⅰ
機械製図Ⅰ	AI・プログラミング	情報処理	生化学	化学工学Ⅱ
機械製図Ⅱ	プログラミング実習	情報処理	基礎生物学	化学工学Ⅲ
CAD/CAMⅠ	データサイエンス基礎実習	アルゴリズムとデータ構造	微生物学	化学工学Ⅳ
CAD/CAMⅡ	電気情報工学基礎実験Ⅰ	数値計算	微生物学	化学統計学
機械加工学Ⅰ	電気情報工学基礎実験Ⅱ	エンジニアリング演習	基礎化学実験	化学工業
機械加工学Ⅱ	応用数学	ものづくり実習	分析化学実験	基礎工学概論Ⅰ
機構学	応用物理Ⅱ	創造工学基礎演習	有機化学実験	基礎工学概論Ⅱ
電気工学	応用物理実験	応用数学	生化学実験	機器分析
スキルアップエデュケーション	電気回路Ⅰ	応用物理Ⅱ	物質化学工学演習Ⅰ	生物環境化学
応用数学	電気回路Ⅱ	応用物理実験		分子生物学
応用物理Ⅱ	電気機器工学	熱流体工学Ⅰ		工業物理化学実験
応用物理実験	電磁気学Ⅰ	熱流体工学Ⅱ		情報処理
プログラミング基礎	電磁気学Ⅱ	加工学		情報処理演習
プログラミング応用	電子回路Ⅰ	材料力学		物質化学工学演習Ⅱ
熱力学	電子回路Ⅱ	材料力学演習		総合工学
伝熱工学	電子物性工学	工業力学Ⅱ		卒業研究
エネルギー工学	半導体工学	ロボティクス	以下の3つの科目群より1つ選択(計6単位)	
流体力学Ⅰ	環境エネルギー工学	メカトロニクスⅠ	① 創製化学、バイオマテリアル、材料化学Ⅱ、 創製化学実験 ② 食品化学、バイオマテリアル、応用微生物学、 生命化学実験 ③ 食品化学、表面科学、材料化学Ⅱ、 計測化学実験	
流体力学Ⅱ	電気電子計測Ⅰ	メカトロニクスⅡ		
流体力学Ⅲ	電気電子計測Ⅱ	電気電子工学Ⅱ		
流体力学Ⅳ	電気電子計測Ⅲ	電気電子工学Ⅲ	選択科目(5単位以上)	
機械力学Ⅰ	知覚情報処理工学	ハードウェア応用	インターンシップ 物質化学工学演習Ⅲ 反応工学 応用有機化学Ⅱ 天然物化学 基礎生命科学	
機械力学Ⅱ	サイバーセキュリティ基礎	ソフトウェア応用		
材料力学Ⅰ	情報理論	計測工学		
材料力学Ⅱ	データサイエンス実習	センシング工学		
材料力学Ⅲ	電気情報工学実験Ⅰ	制御工学Ⅰ		
機械システム工学実験Ⅰ	電気情報工学実験Ⅱ	制御工学Ⅱ		
機械システム工学実験Ⅱ	工業英語	システム工学		
機械設計演習Ⅰ	総合工学	人工知能概論		
機械設計演習Ⅱ	卒業研究	プログラミング応用		
CAD/CAE		画像処理		
塑性加工学		信号処理		
機械要素Ⅰ		シミュレーションプログラム		
機械要素Ⅱ		情報理論		
メカトロニクスⅠ	選択科目(2単位以上)	情報ネットワーク工学		
メカトロニクスⅡ	電気情報演習A	サイバーセキュリティ		
センシング工学	電気情報演習B	先端情報通信技術概論		
制御工学Ⅰ	創成工学演習A	工学実験		
制御工学Ⅱ	創成工学演習B	英語プレゼンテーション		
システム工学	インターンシップ	技術者概論		
創造実習	選択科目(2単位)	創造工学概論		
総合工学	電子回路Ⅲ	総合工学		
機械システム工学ゼミナール	通信工学	創造工学		
卒業研究	光エレクトロニクス	システム制御ゼミナールⅠ		
	ソフトウェアデザイン工学	システム制御ゼミナールⅡ		
	選択科目(6単位)	卒業研究		
	電磁波工学	選択科目(1単位)		
選択科目(3単位以上)	量子工学	インターンシップ		
インターンシップ	システム制御工学	システム制御情報工学特別講義		
計算力学	電力システム工学			
生産技術論	人工知能論基礎			
オプトエレクトロニクス	情報ネットワーク			
	情報アルゴリズム			

※第4・5学年の履修科目は、網かけの科目を除く科目です。

令和9年度 旭川工業高等専門学校

編 入 学 願 書

受験番号	※
------	---

志望学科		工学科					
志 願 者	ふりがな						
	氏 名						
		西暦	年	月	日	生 (歳)
	在籍 (出身) 学 校 等	立	学校				
			年	月	日	卒業・卒業見込	
	高等学校 卒業後の 学歴また は職歴		年	月			
		年	月				
現住所	〒	—					
			TEL	—	—		
保 護 者	ふりがな			志願者 との関係			
	氏 名						
	現住所	〒	—				
			TEL	—	—		

- (注) 1 ※欄は記入しないでください。
 2 生年月日は、西暦で記入してください。
 3 「保護者」欄については、高等学校または中等教育学校に在学中以外の成人の方は任意の記入とします。

旭川工業高等専門学校
検定料振込金受取書貼付欄

(銀行の窓口で振り込みした場合)

- ◎取扱銀行収納印のある「振込金受取書」の写しを貼付してください。(原本は貼付しないでください。)
- ・「振込金受取書」に取扱銀行収納印がない場合は無効です。

(ゆうちょ銀行(郵便局)で振り込みした場合)

- ◎「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」の写しを貼付してください。(原本は貼付しないでください。)

受験票・写真票の記入上の注意

- ・※欄は、記入しないでください。
- ・「受験票・写真票」は、切り離さずに提出してください。

令和9年度 旭川工業高等専門学校 編入学志願者 写真票	
受験番号	※
志望学科	工学科
ふりがな 氏名	
在籍(出身)学校等	立 学校
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"><p>写真貼付欄</p><p>写真の裏に氏名及び志望専攻名を記入し、この大きさに切って全面のり付けしてください。</p><p>(4cm×3cm)</p><p>☆脱帽上半身正面向き、出願前3か月以内に撮影したもの。</p></div>	

令和9年度 旭川工業高等専門学校 編入学志願者 受験票	
受験番号	※
志望学科	工学科
ふりがな 氏名	
在籍(出身)学校等	立 学校
<p>受験上の注意</p> <ol style="list-style-type: none">1 検査開始時刻の20分前までに受付を済ませ、受験者控室へ入室してください。2 受験票は常に携帯し、係員から求められた場合は提示してください。3 受験票を紛失又は当日忘れた場合は、直ちに検査本部に申し出て、再交付を受けてください。4 上履きは必要ありません。	

注意事項

※各票の太線の中のみボールペンで記入してください。

※編入学願書提出前の所定の期間内に金融機関窓口で振り込んでください。(振込理由を明確にするため、ATMは不可。)

※志願者本人の名義で振り込んでください。

※振込金受取書の写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。

※ゆうちょ銀行から振り込む場合は、この用紙を使用することは出来ません。郵便窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り記入いただく必要があります。振込後は「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」を受領し、その写しを入学願書の裏面に貼り付けてください。
(ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。)

切 り 取 り 線

振込金受取書

令和 年 月 日			
金額	¥ 1 6 5 0 0		
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店		
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号 0474397
	高専機構本部 様		
(志願者本人) ご依頼人		様	
備考	手数料	円	

上記の金額正に受け取りました。

(取扱店)

店

(取扱店→依頼人)

収入
印紙

電信

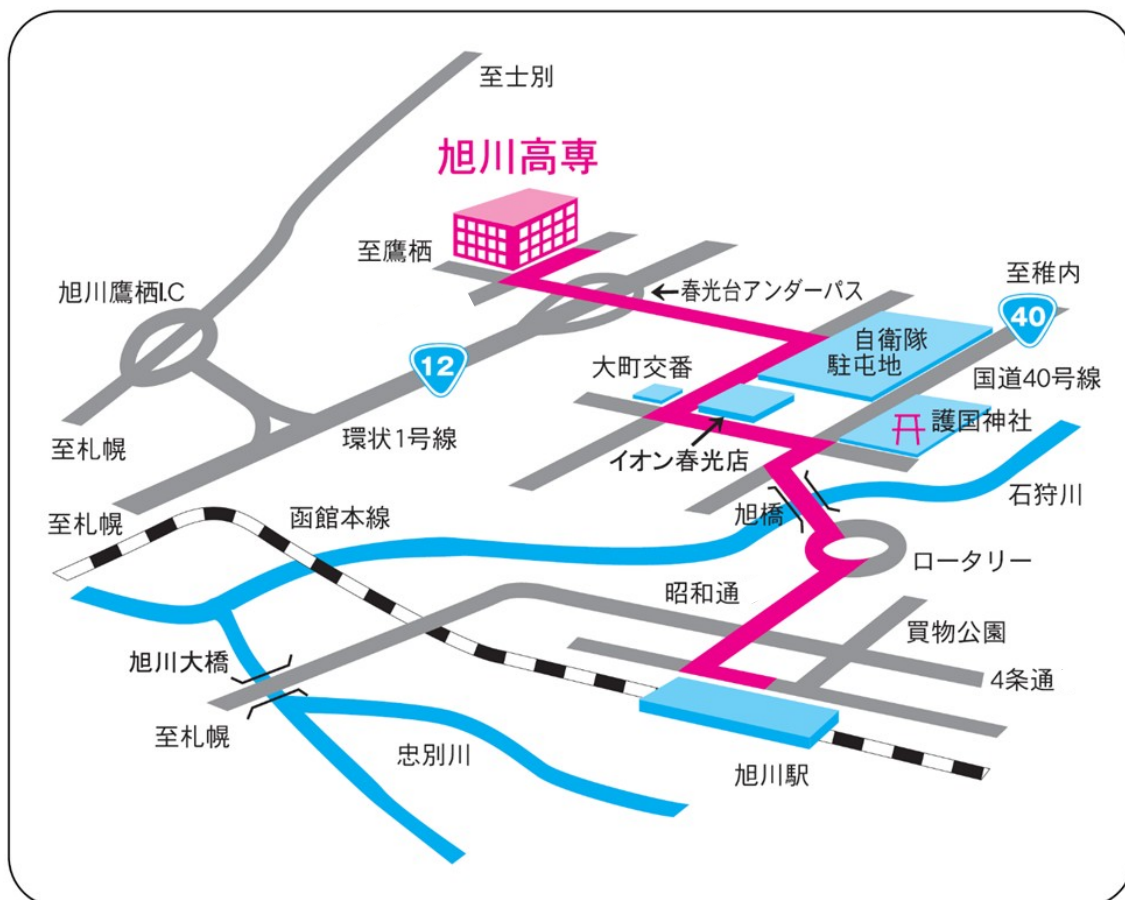
振込依頼書

科目					
ご依頼日	令和 年 月 日	電信扱		手数料	円
先方銀行	株式会社北海道銀行大町支店		金額	¥ 1 6 5 0 0	
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0474397	内訳
	(フリガナ) コウセンキコウホンブ				
	高専機構本部 様				当手
ご依頼人	八王子市東浅川町701-2				収入印
	様				
振替科目	(フリガナ) (おなまえ)				振替科目
	(おところ) (電話) - -				

切
り
取
り
線

(取扱店保管)

旭川工業高等専門学校位置図



アクセス

- J R 「旭川駅」から約 7 km
 - ・旭川駅前バスタッチ③のりばから、道北バス 29 番または 30 番に乗車し「高専前」下車 約 25 分。
 - ・自動車約 20 分。
- 道央自動車道「旭川鷹栖 I C」から約 4 km
 - ・自動車約 10 分。
- 旭川空港から約 25 km
 - ・自動車約 40 分。
 - ・バス約 70 分
 空港連絡バス→旭川駅→バス（道北バス 29 番または 30 番に乗車し「高専前」下車）

独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台 2 条 2 丁目 1 番 6 号
 TEL 0166-55-8178 (学生課教務係)
 FAX 0166-55-8084 (学生課)
 E-mail g_nyushi@asahikawa-nct.ac.jp
 URL <https://www.asahikawa-nct.ac.jp>